

沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価

平成29年 9月28日
沖縄県立図書館協議会

【評価】

平成28年度の図書館の運営について、課題解決型図書館を除いては基本指標、個別指標ともに目標を達成し、概ね良好に運営されている。目標値が未達成であった指標についても、量的な減少はみられるものの、質的にはこれまでの運営水準を満たすものであることを確認した。

「基本指標」のうち、貸出冊数については、タブレットやスマホが急速に普及し、インターネット等の利用により個人でも容易に情報収集が可能となった中でも、順調に増加している。

また、レファレンス件数が増えていることは、県立図書館としての役割に特化してきたと捉えることができる。レファレンスについては、今後更に需要が増えることが予想されるため、職員の資質向上に努めて欲しい。

「入館者数」については、その数のみで運営状況を評価するだけではなく、入館者に図書館利用後の満足度調査アンケートなどを実施して、定量的な指標以外に定性的な観点から検討することも必要ではないか。

「課題解決型図書館」の指標のひとつである市町村立図書館職員を対象にした研修会の開催については、平成28年度より、目標値を1.5倍にしたことによる達成率の減少がみられるものの、これまでの水準は概ね維持されていると評価できる。しかし、実施回数や参加人数なども評価の目安にはなと思うが、できれば、その研修成果も評価に含められるとよいのではないか。今後も引き続き、ニーズに合った研修を実施するための材料に資する評価となるよう、その結果の分析に努めてもらいたい。

郷土資料コレクション形成にかかわり、図書の寄贈受け入れを含め、図書館の事業について知らない団体も多く、まだ十分に周知されていないと感じる。関係機関と連携し、学校長や公民館館長などへ取り組みの趣旨を説明するとともに、より効果的な周知方法についての再検討が必要である。

平成30年度中に、県立図書館が、モノレール旭橋駅近くに移転する計画であり、これまでの図書館単独の施設から複合商業施設の中へ移転することについて、とくに移転に伴う休館情報など早めの周知に努めてほしい。また、移転後の県立図書館においては、周辺環境や人の流れも変わることが想定される。県立図書館としてのサービスの本質を見極めつつ、今後の情報サービスのあり方なども含め、5年間の評価指標についても見直しを図る必要がある。

[項目別達成度評価]

1 基本指標

| 番号 | 提言事項 | 具体的な指標 | 評価 | 基本方針評価 | |
|----|--|-----------|----|---|-----|
| | | | | | 評価 |
| 1 | 県民の知識要求に対応できるような確かな資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図る。 | ・入館者数 | 3 | ・新館開館に向け、様々なジャンルの蔵書冊数を増やしたこともあり、貸出冊数が増えている。 レファレンス件数も目標値を上回った。 | 3.5 |
| 2 | | ・蔵書冊数 | 3 | | |
| 3 | | ・貸出冊数 | 4 | | |
| 4 | | ・レファレンス件数 | 4 | | |

2 個別指標

(1) 広域型図書館

| 番号 | 努力点 | 区分 | 推進項目 | 具体的な指標 | 評価 | 努力点別評価 | | 基本方向別評価 | |
|----|--------------------|----|--|----------------------------------|----|---|-----|--|-----|
| | | | | | | | 評価 | | 評価 |
| ① | WEBサイトの充実 | ア | レファレンス事例の発信 | ・レファレンス事例のデータベースへの掲載件数 | 4 | ・レファレンス事例のデータベースへの掲載件数は目標値を達成することができた。 ・HPリニューアル後チェックサイトによる評価点数の使用ができなくなっていたことから、その指標を廃止し、H27年度から新たに開始したTwitterのフォロワー数及びHPアクセス件数へ改正したことで評価が可能となった。今後も情報発信を充実させるとともに、アクセシビリティについては留意していきたい。 | 3.5 | ・2つの努力点とも目標値を達成した。 ・WEBサイト等については、こまめに情報更新を行うよう努めており、今後も様々な情報を積極的に発信し、図書館事業の周知に活用していきたい。 | 3.8 |
| | | オ | 高度なアクセシビリティの確保（利便性の確保） | ・沖縄県立図書館HPアクセス件数及びTwitterフォロワー件数 | 3 | | | | |
| ② | 市町村立図書館を通じたサービスの提供 | ア | 市町村立図書館への資料配送及び市町村立図書館間の相互貸借を支援する物流システムの構築 | ・市町村巡回車運搬冊数(取扱い冊数) | 3 | ・市町村巡回車運搬冊数は目標値に達しなかったものの15,000冊台(前年度比約95.4%)を維持している。 ・子育て支援団体や児童館等との連携等により、一括貸出制度の周知に繋がり目標値を達成した。 ・移動図書館貸出冊数は開催回数を増やしたこともあり、貸出冊数が伸び、目標値を達成した。 | 4.0 | | |
| | | エ | 離島や遠隔地の市町村立図書館との共同事業の実施 | ・一括貸出冊数 | 5 | | | | |
| | | | | ・移動図書館貸出冊数(開催回数) | 4 | | | | |

(2) 課題解決型図書館

| 番号 | 努力点 | 区分 | 推進項目 | 具体的な指標 | 評価 | 努力点別評価 | | 基本方向別評価 | | | | | | | | | |
|----|-----------------------|---------------------------|----------------------------|--|----|---|-----|--|-----|---|------------------|---|--|--------------------|--------------------|---|-----|
| | | | | | | 評価 | 評価 | 評価 | 評価 | | | | | | | | |
| ① | 市町村立図書館及び図書館未設置町村への支援 | ア | 市町村立図書館の職員を対象にした研修計画の策定と実施 | ・市町村立図書館職員を対象にした研修会開催回数 | 2 | ・目標値の設定を見直し研修開催回数を6回から9回に上げたこともあり、目標値を達成できなかった。 | 2.0 | ・2つの努力点について、地域活性化へ向けた支援活動の充実については目標値を達成したが、市町村立図書館及び図書館未設置町村への支援については達成できなかった。 | 2.5 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | ② | 地域活性化へ向けた支援活動の充実 | ア | 子ども読書活動推進及び文字・活字文化の振興に関する市町村立図書館への情報提供と連携事業の実施 | ・「子ども読書活動推進室」の利用回数 | 4 | ・前年度より毎月のお話会と本の相談会等あらゆる機会を捉えて、推進室の利用についてPRに努めていることから、周知が図られ利用回数が順調に伸びており目標値を達成した。 | 3.0 |
| | | | | | | | | | | | | | ・沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数 | 1 | ・連携行事への参加が大きく下回った。 | | |
| コ | 沖縄県図書館協会等との連携・協力 | ・沖縄県図書館協会主催講演会及び研修会への参加人数 | 4 | ・講演会及び研修会への参加人数は目標値を達成した。今後も内容を充実させていくよう努める。 | | | | | | | | | | | | | |

(3) 琉球・沖縄関係資料の中核的図書館

| 番号 | 努力点 | 区分 | 推進項目 | 具体的な指標 | 評価 | 努力点別評価 | | 基本方向別評価 | |
|----|------------------------------|-------|------|---|----------|---|-----|--|-----|
| | | | | | | 評価 | 評価 | 評価 | 評価 |
| ① | 郷土資料コレクションの形成 | - | - | ・郷土資料の受入冊数 | 2 | ・平成28年度は市町村観光協会、商工会、小中高校等が発行しているの記念誌を中心に積極的に収集したが、結果として前年度を下回り、目標値を達成することができなかった。 | 2.0 | ・郷土資料の受入れについては、目標を達成できなかった。対象となる団体やテーマ等を定めて核となる郷土資料の収集については今後も受入れに力を入れていきたい。 | 3.2 |
| | | | | | | | | | |
| イ | 貴重資料保存計画（状態調査・修復・保存措置・複製）の策定 | ・修復点数 | 5 | ・貴重資料の修復及び複製本の作成については、予算を工面し、大幅に目標を達成することができた。今年度から古い貴重資料の劣化度調査の新規事業を立ち上げたこともあり、必要な調査や修復等を行っていききたい。 | | | | | |
| | | | | | ・複製本作成冊数 | 5 | | | |

(4) 電子図書館

| 番号 | 努力点 | 区分 | 推進項目 | 具体的な指標 | 評価 | 努力点別評価 | | 基本方向別評価 | |
|----|-------------|----|-----------------|----------------|----|--|-----|--|-----|
| | | | | | | 評価 | 評価 | 評価 | 評価 |
| ① | 付加価値の高い情報発信 | ア | デジタルコンテンツの作成・発信 | ・デジタル郷土資料の解説点数 | 3 | ・デジタル郷土資料の解説点数については、目標値を達成できなかったが、実績値は前年度と比較すると上回っている。 | 3.0 | 2つの努力点とも目標を達成した。 ・図書館ホームページは、アクセス数も増えており、今後も電子図書館としての機能の充実を図っていきたい。 | 3.0 |
| | | | | | | | | | |

| 総合評価 | |
|--|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> 基本指標の蔵書冊数や貸出冊数、レファレンス件数とも実績値が前年度を上回っており、県内の中核図書館としての役割を果たしている。 郷土資料コレクションの形成については、本などの新規発刊数や寄贈数の増減などもあるため、収集方法の工夫等を行う必要がある。 関係機関、他団体等との連携を強化することで、館外サービスや館内イベントの充実につながったとともに県立図書館としての機能、役割について広く県民に周知することができた。 | 3.2 |